

■2020年 高大接続改革！(その2)

～大学入学者選抜改革の概要(大学入学共通テスト)～

2020年度の改革により現在の「大学入試センター試験」は廃止され、これに代わり「大学入学共通テスト」(仮称)が実施されることとなります。この「大学入学共通テスト」(仮称)へシフトすることによる変更点は、大まかには2つあります。

1つ目としては、国語と数学において記述式を導入するという事です。「大学入試センター試験」はマークシート式のみでしたが、これに加えて試験時間を延長した上で記述式の問題が出題されることとなります。

2つ目としては、英語における民間試験の導入です。「大学入試センター試験」は「読む」と「聞く」の2技能を評価するものでしたが、この民間試験では上記に加え、「話す」と「書く」の合計4技能が評価されることとなります。この民間試験の導入の仕方としては

A案…民間試験のみで実施

B案…2023年度までは、民間試験と共通テストの英語を併用



この2種類が現在検討されているところです。また、民間テストは何を使うのかという点に関しては、現在まだ確定していません。これから大学入試センターが検討をした上で判断し、認定を行う予定ですが、一般的には英検やGTEC、TEAPなどの試験が予想されています。

受験生はこれらの民間試験の中から、高校3年生以降の4月から12月の間の試験結果を2回まで活用します。活用する民間試験の申し込みの際に、大学入試に使うことを申請し、民間試験の結果が大学入試センターに送られます。この結果が大学入試センターから出願をする大学に送付されることとなります。資格・検定試験の成績の有効期限や、既卒者の対応などは現在未定です。



編集:英智学館 教務情報課
電話 0120(710)981
HP <http://eichikan.co.jp/>

■中学学習ポイント(第2回)

中学学習ポイント第2回の今回は「方程式」です。「式の計算」と何が違うのでしょうか。

まず気付いていただきたいのが、今まで「計算しなさい」と言われていたのが「解きなさい」に変化している点です。式を変化させていき、式の中に存在する文字(xやyなど)の値を求めることが目的となります。

方程式には最初から等号(=)が存在していますね。この形を「等式」と言います。等式なので、左右は常に等しくなければいけません。言い換えると、等しくなるのであれば自由に加減乗除が行えるのです(右記)。

中学では「方程式」「連立方程式」「2次方程式」を学習していきます。方程式の計算が苦手という方は、「正負の数」の四則計算と「文字式」のルールを今一度確認しておきましょう。計算力はルールを守ることと練習を繰り返すことで身につきます。

計算ができるようになったらよいよ文章問題に挑戦です！定期テストや高校入試で配点の高い問題が多いのが特徴です。演習を重ねてパターン化して対応していきたいですね。

等式の性質 $A=B$ ならば

- ① $A+C=B+C$
- ② $A-C=B-C$
- ③ $AC=BC$
- ④ $\frac{A}{C}=\frac{B}{C}$ ($C \neq 0$)

分数は通分ではなく「払う」!

$$\frac{x}{2} - \frac{6-x}{3} = 1 \Rightarrow 6 \times \frac{x}{2} - 6 \times \frac{6-x}{3} = 6 \times 1$$

両辺を6倍して分母を払う $3x - 2(6-x) = 6$

かっこをはずす $3x - 12 + 2x = 6$

両辺を6倍するときは全ての項にかける!
かっこをはずすときは符号に注意!!

$$x = \frac{18}{5}$$

■漢検・数検の申込受付

ただいま8月検定の申込を受付しています。夏休みの間に一学期または前学年の学習内容の「総まとめ」として検定にチャレンジしてみませんか。

漢字検定は8月22日(火)実施、申込締切は7月10日(月)、数学検定は8月26日(土)実施、申込締切は7月3日(月)となっております。

中3受験生にとっては高校受験を有利にするために、ぜひご利用ください。なお、検定に興味があるお友達やご兄弟・ご家族も受験ができます。詳しくは教室までお問合せください。



■新学期からはじめる『新聞意味調べ』のススメ(其の2)

前回の内容に続き、『新聞意味調べ』のススメについて、お話します。前の号でお話した①～④に加え、

- ⑤ 赤ペンを持って、文章内で筆者が言おうとしている事に線を引く。
- ⑥ 赤線を引いたところを自分の言葉をあまり使わず、組み合わせて「要旨まとめ」をする。
- ⑦ その「要旨」に関して、自分の立場(その内容に賛成・反対等)ははっきりさせ、意見を書く。

ということを行うと、小論文対策も行うことができます。

現在の中学3年生のお子さんが大学入試をむかえるときに、入試制度が変わり、現況の「大学入試センター試験」から「大学入学共通テスト」(仮称)に変更し、各大学の個別試験も今以上に「思考力・判断力・表現力」と「主体性・多様性・協働性」が問われるものになるようです。これに向けて、小学生から高校生まで「主体的・対話的な深い学び」を求める授業が増えてきます。

「主体的・対話的な深い学び」とは具体的に、「グループディスカッション」や「自ら体験」「人に教える」など、能動的な行動に力点が置かれる授業の事で、これが増えてくるわけです。

上記の⑤～⑦の練習を日々行う事が出来れば、十分な知識を自分の物とし、自分の考えのもと、この「能動的な授業」に対応できる力が積み重なっていきます。前号の①～④は中学時代から、それにプラスして⑤～⑦は高校以降から週3～5回ペースで始めることをおすすめします。



今月の格言・金言 「Failure is success if we learn from it.」 ～マルコム フォーブス～

アメリカの経済誌「フォーブス誌」の元発行人、マルコム・フォーブス氏の言葉です。訳は「もし、失敗から学ぶことができれば、失敗は成功である」。失敗は誰でもします。しかし、そこで終わらせず、「次にどのようにすれば良いか」をしっかりと考えることが出来れば、後々の試験に十分生かせるようになり、成功に繋がります。

考えることが出来れば、そこから次の成功が見出せます。勉強でも同じです。定期テストや模試など終えた後はしっかり見直しをして、「次にどのようにすれば良いか」をしっかりと考えることが出来れば、後々の試験に十分生かせるようになり、成功に繋がります。